

9/27 緑の再生に関わる「緑はどうなった？」秋授業

毎年、春と秋に行われている「緑はどうなった？」授業が洞爺湖温泉小学校で行われ、全校児童36人が参加しました。この授業は、有珠山噴火後の緑の再生を通して、児童に噴火災害や減災、自然への理解を深めてもらうことを目的に実施しています。

今回は宝ものさがしと題し、洞爺湖畔の森で採取したミズナラやトチノキの種を来年の春の植樹に向け、ポットに植えまし



ポットに種を植える児童たち

9/25 学校教育、社会教育に貢献 横山正さん瑞宝双光章受章

高齢者叙勲伝達式が教育長室で行われ、元虻田中学校長の横山正さんが瑞宝双光章を受章し、皆見教育長から勲記と勲章が授与されました。

横山さんは昭和62年4月から虻田中学校長として赴任。定年退職後、平成15年10月からは虻田町教育委員会教育委員長を務め、教育行政の充実に尽力しました。息子さんの横山佳彦七飯町立大中山中学校長は「名誉ある章をいただき、父も喜んでい



瑞宝双光章を受け取った息子の佳彦さん

10/1 町民の安全を守る 寺島勉団長辞令交付

洞爺湖消防団辞令交付式が町長室で行われ、寺島勉団長が真屋町長から辞令を交付されました。

寺島団長は昭和37年7月に虻田消防団に入団、分団長などを歴任しながら、町民の安全を守ってきました。平成19年10月に洞爺湖消防団団長に就任し、今回が4期目となります。

寺島団長は「新たな気持ちで出発したい。署員、団員と協力し、町民の安全を守っていきたい」と抱負を語りました。



4期目の団長に就任した寺島勉団長

9/29 先祖、神へ祈る アイヌ先住民族慰霊祭

令和元年度洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭（洞爺湖アイヌ協会主催）が入江の歴史公園にある先住民族慰霊碑前で行われ約25人が参加し、先祖や神に祈りを捧げました。慰霊祭では、火の神、幣場を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げるカムイノミと先祖を供養するイチャルパを執り行いました。

最後に藤野満裕会長が「皆さんの協力で民族儀式を行えたことを感謝します」とお礼の言葉を述べました。



厳粛な中執り行われたアイヌ先住民族慰霊祭

10/3・10/11

まちの主要道路をきれいに 雑草除去ボランティア

虻 田地区の主要幹線道路である国道37号の歩道を綺麗にしようと、沿線住民や地元企業、役場職員延べ約100人が参加し、雑草除去作業を行いました。

町に住んでいる人も、町を訪れる人も気持ちよく感じられ、イメージアップにつながるようにと実施しています。

2日間とも午前7時から、草取り用の鎌やスコップを使い、縁石の隙間や電柱の根元に生えた雑草を取り除きました。



縁石の隙間の雑草を取り除く地域住民

10/1

見学旅行生をガイド 遊覧船ガイド研修

虻 田高校3年生14人が、埼玉県立秩父秩父高校2年生の見学旅行生92人を対象に遊覧船のガイドを行いました。

虻田高校3年生は当日までに事前学習として、同校の2年生、虻田中学校3年生を対象に2回の模擬練習を繰り返し、準備しました。

当日ガイドを受けた埼玉県立秩父高校の生徒は「とても説明が分かりやすく、洞爺湖のことを知ることができて良かったです」と満足していました。



見学旅行生にガイドする虻田高校3年生

10/5

大人と子どもが楽しく交流 地域食堂ほのぼの秋祭り

大 人と子どもが交流する地域食堂ほのぼの秋祭りが、地域交流センターで開かれ、参加した小・中学生、町民たち約150人が出店やゲームなどでお祭りを楽しみました。

当日は、おにぎり弁当とフルーツサンドの昼食を終えた後、虻田中学校吹奏楽部の演奏で盛り上がりました。その後、射的や輪投げ、綿あめなどのコーナーやけん玉ワークショップなどが行われ、会場全体が笑顔にあふれていました。



盛り上がったけん玉ワークショップ

10/5

個性溢れる作品 113点 小中学生作品展表彰式

小 中学生作品展が行われ、絵画や工作など113点の応募の中から最優秀賞、優秀賞、佳作に21点が選定され、とうや水の駅で表彰式を行いました。

最優秀賞には、小学校低学年の部が寺田尊さん（とうや小2年）、同高学年の部では田中ジツクさん（温泉小6年生）、中学生の部では坂本蒼司さん（洞爺中3年）が受賞しました。

表彰式終了後は、洞爺湖芸術館に移動して各作品を鑑賞しました。



小中学生作品展表彰式で表彰された皆さん